

トガリバイチゴケ(ハイゴケ科)

Taxiphyllum cuspidifolium (Card) Iwats.

兵庫県: Cランク

環境省: -

種の概要

アオモリサナダゴケにやや似るが、茎は多くの枝を羽状に分ける。枝は斜上し、葉を密に丸くつけて、あまり扁平にならず、葉を含めて幅1.5-2mm。偽毛葉は三角形。枝葉は長さ2-2.5mm、卵形、やや非相称で凹み、先は急に細く鋭頭、または長く尖る。葉縁はほぼ全縁、または細かい歯がある。中肋は2又して短い、ときに葉長の1/3前後に達する。葉身細胞は線形で長さ80-100 μ m、幅8-10 μ m、平滑。翼部の細胞は方形~矩形、数列あつて暗く、葉縁では縦に6-14個が並ぶ。雌雄異株。蒴はアオモリサナダゴケに似る。石灰岩地の岩上、地上、ときに木の根元などに生育する。

国内分布

本州~九州

県内分布

播磨西部、但馬、神戸市北区、淡路市

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
						○



特記事項

兵庫県では石灰岩以外の場所に生育する。

保護上の留意点

生育地の保全